

# 業務の新聞

第65号

2020年 11月 21日

## 足りません！

2.2か月という会社回答に納得していますか？

コロナ禍での私たちの奮闘は2.2か月にしか値しませんか？

あなたの生活に冬のボーナスはいくら必要ですか？

私たちは東日本ユニオンの要求に足りない0.8か月分の「追加支給」を求めます。

会社経営陣は、私たちのコロナ禍での日々の奮闘を評価し謝意を表しています。それは、それだけ私たち社員が頑張ってきたことの現れです。

住宅ローン・子弟の教育・日々の生活など、今回のボーナスを当てにしていませんでしたか？奥さんは“怒って”いませんか？日々の生活にかかる費用を切り詰め、ガマンして、“新しい年”を迎えますか？

どう考えても、2.2か月では『足りません！』

親父の小遣いを切り下げても、晩酌代をケチって、冬のボーナス不足分は補うまでにはいかないでしょう。奥さんや子供たちにも辛い思いをさせることになってしまいます。

繰り返します、

『2.2か月では足りません！』

皆さん、思いは同じでしょう！

“個人的な評価”のまえにJR 東日本社員の評価は2.2か月だということなのです。

この会社での現場の主役は間違いなく私たちです。大きく減少したと言ってもここまでの収入を稼ぎ出したのは間違いなく私たちです。

会社には、0.8か月の追加支給を強く求めます。

職場から頑張ります！

## こんな話も…？

とある支社で「経費削減」の最中の今、“研修”をとある温泉で、それも一泊で計画しているという話が聞こえてきました。

こんなことがあるんですかね？

経費削減はもとよりコロナウイルス感染予防の観点からみても？？？どころか、この企画は信じがたいものです。聞き間違いであってほしいと思います。

社員には「滅私奉公」よろしく超低額ボーナス回答を行いつつ、この時期に特定の皆さんで温泉で研修。とは一体どんな感覚を持っているのでしょうか？

職場の経営に携わる皆さん。あなたたちも社員からシッカリ見られています。安全と職場環境改善にはキチンとした対応をお願いします。

## 職場は見えていますか？

複数の職場で「年休申込」「年休付与」「年次有給休暇の時期変更」などについて職場管理者が変更した内容に、疑問の声や是正を求める声が挙がっています。

ある職場管理者と話をしましたが「何も変えていない」と「変更したこと」も認識していないように話してくれました。多くの社員が複数の職場で“勘違い”でもした。と言いたいような口ぶりに感じました。

職場の社員が「？」と感じ「こたえ」を求めたら職場管理者はどうするのでしょうか？『三サル』に変身して、「見ず・聞かず・語らず」を決め込むのでしょうか？

あなたの職場ですよ、見えていますか？